

Kobe-Seattle Sister City Association

KSSCA

神戸・シアトル姉妹都市協会

The NEWS Letter vol.23

2024年10月

~~~~~ contents ~~~~~

- 会長の挨拶
- 2023年10月～2024年9月活動報告
  - ☆U-Prep 交流プログラム再開！ ☆U-Prep の学生との文化交流
  - ☆神戸まつりパレード参加
  - ☆Witness としてストーリーポール贈呈式へ参加
  - ☆ストーリーポール贈呈式典 ☆ストーリーポール歓迎イベント
  - ☆生田神社訪問 ☆淡路島 企画展見学
  - ☆第23回 神戸新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト
  - ☆神戸YMCA 訪問
  - ☆シアトル訪問 ☆～絆を紡いで～
  - ☆神戸シアトルビジネスオフィス 兵庫県ワシントン事務所訪問
  - ☆シアトルYMCA 訪問
  - ☆Josh Sutton 夫妻歓迎会 in KOBE ☆ブライアンさん来神
- 神戸シアトルビジネスオフィスより
- ジェイミー リポート from シアトル
- 今後の予定
- ホストファミリー/ホームビジットファミリーの登録のお願い
- 年会費振込のお願い
- 2023年度会計決算及び監査報告
- 当協会について
- 法人会員より



## ご挨拶

会長 八木 絵里



今年には神戸市とシアトル市の姉妹都市交流においても新たな段階を迎え、人の動きも戻り制限も緩和されて様々な交流行事が再開されました。コロナ以来ストップしていた高校生の交流プログラムを神戸で再開できたことは大変嬉しい出来事でした。文化交流行事の際にはたくさんの会員の方にもご参加いただき、再開の喜びと共に楽しい会話が弾みました。

そして、両市の間で6年前から計画し、長い時間をかけて制作されてきた「ストーリーポール」の神戸への授与が遂に実現できた年でもありました。このストーリーポールは、シアトルの伝統文化を象徴するものであり、両都市の絆を深めるシンボルとして重要な役割を果たします。これを記念して、より多くの市民の方に知っていただくために、式典に姉妹都市協会を代表して私が出席するとともに、姉妹都市協会と神戸市で市民を招いての歓迎イベントを盛大に行いました。また、それに伴ってシアトル市民と神戸市民が神戸まつりのパレードにも一緒に参加し、それぞれのイベントには多くの方々にご参加いただきました。このストーリーポールが、私たちの友好の象徴として次世代に受け継がれ、さらなる発展の礎となることを心から願っております。ストーリーポールは東遊園地に設置されました。

また、5月末から私自身も2019年以来、久しぶりにシアトルを訪問することができました。友人との再会を果たし、改めてその温かい歓迎に感動でした。コロナのパンデミックから街の様子やシアトルの人々の生活は大きく変わっていました。シアトルの土地や物価の高騰には目を見張るものがあり、馴染みのお店のいくつかは姿を消し、日本のユニクロやダイソー、日本食のレストランなどが新しくシアトルの街にオープン、日本のスタジオジブリの商品やサンリオ製品がたくさん並んで手軽に手に入るようになっていたことも驚きの一つでした。日本の食品の輸出も進んでいるという印象です。

今年もシアトルから神戸へのツーリストを迎え、歓迎会も開催いたしました。このような直接の交流が再び可能になり、両都市間の友好関係がますます強固になっていくことを改めて嬉しく思います。

私たちの街神戸が育んだこの国際交流の物語が、皆様の心に響き、新たな交流のきっかけとなれば幸いです。一期一会の出会いが、長い年月を経ても今なお輝き続ける友情となり得ることを、私たちの経験は教えてくれています。そして何より、次世代にも繋げていくことで、思いもよらない素晴らしい出会いと経験が待っているということを伝えて行きたいと思っております。

2024年、神戸とシアトルの友好関係は新たな活気を取り戻し、私たちは共に未来に向けた新しい一歩を踏み出しています。2025年は姉妹都市協会設立20年という記念すべき年となり、記念行事も計画しています。多くの会員の皆様とお会いできることを心より楽しみにしています。そして、両都市の協力と交流が更に発展し、世界の平和に繋がっていくことを信じて歩み続けます。

今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## U-Prep交流プログラム再開！

神戸・シアトル姉妹都市協会がシアトルのU-Prepと啓明学院の「高校生ホームステイプログラム」をサポートして今年で19年になります。これまでにたくさんの学生が交流し、お互いの文化や言葉の違いに触れ、ホームステイや学校生活で日常の生活を経験しながら相互理解を深めてきました。

コロナ禍で2019年から中断していたこの高校生交流プログラムを再開することができ、4月6日に9名の生徒たちと2名の先生をお迎えして、協会からは八木、高見、松村の3名が感動の再会をしました。皆さんこれからの日本での生活にワクワク期待で胸を膨らませている様子でした。初日に初めての書道に挑戦したシアトルの学生の皆さんでしたが、力強く筆を動かして、書いた文字の意味を言葉で伝えながら楽しそうに見せてくれました。

4月11日には午前中に神戸市役所を表敬訪問し、小原副市長と対談しました。神戸市の取り組みや環境問題、シアトルでは大きな問題となっているホームレスのことについてなど、生徒たちは積極的に質問し意見交換が行われました。



午後からは着物の着付けと髪結いをして生田神社で参拝体験、生田神社ツアーを行いました。当日はたくさんの協会のメンバーにもボランティアとしてご参加いただきました。着付け、髪結いの先生やお弟子さんたちの技術、仕上がりの美しさに初めて着付けをしてもらった学生の皆さんは大変感激されていました。美しい桜咲く庭園で扇子を持ったり、ポーズを決めて自撮りや撮影をした後は、参拝、玉串奉奠、巫女舞を体験しました。生田の森では、桜、森の木や清々しく澄んだ空気からもパワーを受けながら、姉妹都市交流の発展、健康と平和を共に願いました。U-Prepの先生、学生は



「次は必ず家族とまた一緒に来たいです！」と、感動を伝えてくれました。

神戸において、こうして共にプログラムが再開できたことに、感動と感謝の1日となりました。

ありがとうございました。



## U-Prepの学生との文化交流

松田 高明

神戸市須磨区の啓明学園と、シアトルの私立校University Preparatory Academy (U-Prep) は相互にホームステイプログラムを実施する学生交流を行っています。神戸側が受け入れる時には、期間の半分は神戸・シアトル姉妹都市協会のメンバーの家庭でもホームステイを担当してきました。コロナ禍のため学生交流が中断していましたが、本年から再開されることになり、4月3日～13日の間U-Prepの学生が神戸に滞在しました。久しぶりということで、今回は啓明学園の家庭だけでのホームステイ受け入れになりましたが、文化交流体験を我々協会が受け持つことになりました。



4月11日（木）、U-Prepの高校生9名と引率の先生2名は10:30から神戸市の小原副市長への表敬訪問を行いました。副市長からは「シアトルより神戸に寄贈されることになっているストーリーポールの式典が市役所前の東遊園地で行われること」や、「マイクロソフトのAIの研究所が神戸に開設されること」などの話があり、学生達からは、「今後の地震などに備えた防災対策や、ホームレスの人達への対応」など活発な質問が出ました。

中華料理の昼食後、13:00から生田神社会館において、日本文化を知ってもらう交流イベントを開催しました。女子生徒7名、男子生徒2名、引率の先生2名は順番に、協会役員でもある鶴川さんをはじめボランティアの皆さん8名によって、髪のアップや着物の着付けをしてもらいました。八木会長や当協会の会員12名と啓明学園の先生2名もお手伝いをするとともに、着付けを終えた生徒や先生の写真撮影や、神戸滞在の感想、着物の文化、日本の伝統などについて活発な意見交換が行われました。生徒達もお互いの写真を撮ったり、初めて着た着物について楽しそうに話をしていました。ちょうど生田神社の桜が満開で、天気も良く絶好の撮影日和でもありました。



全員の着付けが終了してから生田神社で公式参拝に参加しました。1800年以上続く生田神社の歴史や、巫女舞などを知ることができました。その後、生田の森を案内してもらい樹齢500年を超えるご神木、日本人の自然崇拝や生田神社を巡る歴史についても学ぶことにもなりました。

U-Prepの学生さんは、日本でのホームステイの体験や、学校での教育に実際に参加することで、日本人の日常生活や慣習を知ることができたことでしょう。また、日本の伝統文化や、自然に対する畏敬や尊敬の心も合わせて学ぶことができました。ホームステイ先の家庭や、着物の着付けを手伝って下さったボランティアの方々や我々協会のメンバーにとっても日本文化を伝える絶好の機会になったと思います。



## 神戸まつりパレード参加

松田 高明



4月21日（日）に開催された神戸まつりのパレードに、シアトルからハレル市長夫妻をはじめ41名の訪問団と一緒に、神戸・シアトル姉妹都市協会メンバーも参加しました。急な参加の呼びかけでしたが、我々協会からも八木会長をはじめ12名が集まりました。当日は小雨がぱらつくあいにくの天気でしたが、14:30に東遊園地を出発して、1時間弱をかけて大丸神戸店まで元気に歩くことができました。

パレードの案内放送では、「シアトルと神戸は、1957年に、お互いにとって最初の姉妹都市になってから、ずっと仲の良い友達です。今回、皆さんは、ネイティブ・アメリカンの伝統的な彫刻『ストーリーポール』の贈呈のため神戸に来られました」と紹介されました。シアトル神戸姉妹都市協会のレベッカさんが、「44番シアトル姉妹都市訪問団」のプラカードを掲げ、ハレル市長夫妻を先頭に、シアトルと神戸の小さな市旗を振りながら行進しました。コースト・セイリッシュの皆さんは伝統の衣装を身につけ、太鼓やブランケットを披露していました。我々協会メンバーには、ストーリーポールの制作者ピーターソンさんがデザインしたTシャツが配られ、一体感を持ってパレードに参加できました。なんとか、本降りの雨にならずに済み、最後に皆で記念撮影をしてお開きとなりました。悪天候のためいつもの神戸まつりに比べると観客の方々は少な目でしたが、沿道の沢山の方から声援をいただきました。今年は神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会が5月に開催されるので、神戸まつりが1か月早く行われたため、神戸とシアトルの友好の絆を皆さんに伝えることのできる機会を得ることができたと思います。



## Witnessとしてストーリーポール贈呈式へ参加

薄木 公平



2024年4月22日、東遊園地で開催されたシアトル市・シアトル港・シアトル神戸姉妹都市協会寄贈ストーリーポール贈呈式典並びに記念レセプションに栄えあるWitnessとして参加してきました。

神戸とシアトルとの友好の懸け橋だけではなく歴史の伝承者として選ばれたことは驚きとともに光栄でした。Witnessの選出要件が「次代に伝承できるように若者を」というものであり、「私は咄嗟におじさんだけど？大丈夫？」と問い合わせた経緯があります

(笑)。結果として当日は様々な年代の方がおられたので、安心しました。

さて、当日は、様々な歴史伝承のための講話・儀式があり、新しいストーリーポールの除幕式が行われ、Witnessの認証式がありました。認証の儀式は、当然ながら、シアトル市のハレル市長、神戸市の久元市長をはじめ、両都市の代表団の前で行われましたので、大変緊張しましたが、笑顔で堂々としなければならないなという思いで臨みました。

シアトル市から2名、神戸市から私を含め3名のWitnessが認証されそれぞれが認証されたことを踏まえ両都市へメッセージを伝えました。私は次のような主旨のメッセージを行いました。

『まず、Witnessに選ばれたことを感謝いたします。私とシアトルとのつながりは、阪神淡路大震災の時にさかのぼります。当時中学1年生であった私は、震災後に開催された神戸シアトルキッズキャンプに参加することができました。その時、シアトル市の皆さんは、私たち被災した子どもたちを受け入れてくださり、私の、私たちの心を救ってくださいました。私は、本日、Witnessとして任命され、次代につなぐ役割をいただきました。Witnessとして歴史を伝えていくことで、神戸市とシアトル市の懸け橋となり、このご恩をお返ししていくことが私の責任であると本日改めて自覚しました』

式典終了後は、和気藹々とWitness同士、両都市市民同士、会話をし、ストーリーポール前で写真撮影等を行い、私は協会メンバーに「おじさん。スベってなかった？」と聞いて回った記憶があります。

今回、Witnessに私が選ばれたのは、シアトル市代表団の一員であるカーリンからの強い希望であったと伺った際、私は、神戸シアトル姉妹都市協会の一員として、キッズキャンプのメンバーとして選ばれ、ここにつながっていることに歴史と絆を感じることができました。私は、絆というのは、長い時間たって次の世代になったとき、振り返ったときに、今ここに自分たちがいるのは、先人たちの思いを感じることができた瞬間のことであろうと思います。私が、神戸とシアトルの絆を感じることができたこの時間を次に伝え、このストーリーポールもこれからの神戸とシアトルの友好の絆を象徴するものとして輝き続けていくものであると信じています。

## ストーリーポール贈呈式典

松田 高明



4月22日（月）14:30～16:30、神戸市役所に隣接する東遊園地の南側で、シアトル市・シアトル港・シアトル神戸姉妹都市協会が寄贈してくれたストーリーポールの贈呈式典が開催されました。こども本の森 神戸の近く、以前は噴水があった場所には新たに花時計が造られ、シアトルからの記念品の多くも同時に移設されており、姉妹都市の友好交流のシンボルにピッタリの立地になっています。

式典には神戸の久元市長、シアトルのハレル市長、シアトル港のコミッショナー、米国先住民民族コースト・セイリッシュのピュアラップ・トライブとルミ・ネーションの代表者、ワシントン州総務長官、在大阪・神戸米国総領事など総勢約70名が集まりました。神戸・シアトル姉妹都市協会を代表して八木会長も参加しました。

式典は、シアトル神戸姉妹都市協会の元会長でシアトル港国際ビジネスリエゾンでもあるカーリンさんの進行で行なわれました。まず、現在工事中の市役所庁舎の建設前にあった旧花時計の隣にかつて建っていた、シアトル市から寄贈されたトーテムポール（Friendship Pole）の歴史や、制作者ルミ・ネーションのヒレア氏について子孫の方からの思い出が披露されました。ストーリーポールの制作者ピュアラップ・トライブのピーターソン氏のスピーチ、神戸市長、ハレル市長、来賓の方々のお祝いの言葉が続きました。

コースト・セイリッシュの伝統に従って儀式の歌や祈りがあり新しく設置されたストーリーポールに命が吹き込まれました。そしてストーリーポールを覆っていた黒い幕が代表者の手によって除幕され、神戸市民への正式のお披露目となりました。ブランケットを羽織った女性は大地とのつながりや豊かさを象徴し、鷲はコースト・セイリッシュの歴史や文化を表しているそうです。

この儀式やストーリーポールについて後世に語り継いでいく伝統に従いシアトル側2名、神戸側3名のWitnessが式典最初に壇上に立って紹介され、ブランケットを着せてもらいました。最後に再度壇上に呼ばれて儀式の感想や思いを伝える機会がありました。神戸側のうち一人は当協会の薄木さんで、「阪神淡路大震災の後にシアトル市からの招待でキッズキャンプに参加した体験や、ストーリーポールの意義や歴史を後世に伝えていく決意」を述べました。





式典は2時間あったのですが、様々な視点からのスピーチ、コースト・セイリッシュの伝統儀式や歌などが次々に行われ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。特に旧トーテムポールを制作された子孫の方の熱い思いや、それを引継いで新しくストーリーポールを制作した話など、時代が繋がっていく歴史に深い感銘を受けました。式典のテーマである「絆を讃えて」にピッタリの内容だったと感じました。1957年に

双方の都市にとって最初の姉妹都市になった神戸とシアトルは、今年で67年間にわたり、人や文化だけでなく港や経済交流の歴史をもっています。我々協会も、カウンターパートのシアトル神戸姉妹都市協会とともに草の根レベルの交流を今後とも続けて、人と人の真の交流を通して親睦を深めていきたいと願っています。



## ストーリーポール歓迎イベント

松田 高明



4月22日（月）にストーリーポールの贈呈式典が東遊園地で開催されましたが、広く神戸市民に知っていただくために、翌日の23日（火）18:00～19:30神戸市と当協会が共催して中央区文化センターにおいて歓迎イベントを開催しました。シアトルからエメリー副市長、米国先住民族コースト・セイリッシュのピュアラップ・トライブとルミ・ネーションの代表者など11名、公募に申し込んでいただいた71名、神戸市及び当協会関係者10名、計92名が集まる盛会となりました。

会場の中央区文化センター 1階の多目的ルームは2022年7月にオープンした新しい施設で、15:30から一文字看板や受付などの設営、配布資料の準備や、シアトル側とのリハーサルを行い17:30に入場を開始しました。

イベントは、シアトル神戸姉妹都市協会の元会長でシアトル港国際ビジネスリエゾンでもあるカーリンさんの進行で行なわれました。最初に、神戸市を代表して岡本市長室長の歓迎の挨拶があり、次に当協会の八木会長が「昨日の式典に参加して大変感銘を受けた。これからも活動を続けるとともに、ストーリーポールの意義を後世に伝えていく」決意を述べました。最後にシアトルのエメリー副市長も挨拶をされました。

引き続き、カーリンさんがスライドを見ながらユーモアを交えて、これまでの姉妹都市交流の歴史を振り返りました。さらに、旧トーテムポールを制作したルミ・ネーションのヒレア氏の古い写真や伝統の歌がスクリーンを通じて披露されました。今回のイベントのために特別に用意された貴重な時代を感じさせる映像で、深い感銘を受けました。続いて、ピュアラップ・トライブの芸術家であるピーターソンさんのストーリーポールの制作過程のビデオと、それを日本まで運んで東遊園地に設置するまでのビデオが上映されました。映像の中には、伝統の歌も含まれており、一本の樹がストーリーポールとして東遊園地に設置されるまでの様々な仕事や努力、関係者の尽力が伝わりました。古い写真や、つい最近までの作業風景が映像で皆が共有できるようになった技術の進歩にも驚きました。



最後に、ピーターソンさんと、ヒレア氏の子孫であるフライディさんが壇上に上がり、シアトル港のロクサナさんが司会役となってお二人へインタビューを行う形式でいろいろなお話を聞くことができました。ヒレア氏の思い出や、ストーリーポール制作のインスピレーションだけでなく、神戸の印象も聞き出してくれました。フライディさんは「神戸でピーターソンさんの指導により、ショッピングを楽しむことができました。神戸は人々が親切でたいへん良い町だ。今度は子供を連れてきたい」と、ピーターソンさんは「神戸はモダンと伝統が共存しているところが素晴らしい。コースト・セイリッシュの大使として神戸にやってきた。今後ともストーリーポールが神戸の人に愛され続けてほしい」と感想を述べられました。さらに参加者全員が舞台にあがり、記念撮影をしてお開きとなりました。



カーリンさんの心のこもったプレゼンや歴史的な価値のあるビデオ、インタビュー形式の対話など工夫を凝らした演出もあり、楽しくまた勉強にもなる本当に有意義なイベントになったと思います。



## 生田神社訪問

松田 高明

4月24日（水）の午前中は、シアトルからの訪問団を布引ハーブ園と布引の滝に案内する予定でしたが、雨の天気予報のため、12:00～14:00の生田神社訪問をメインにして交流事業を行いました。シアトル港メトラック事務局長、カーリンさん、ロクサナさん、コースト・セイリッシュのピーターソンさん、フライディさん、シアトル神戸姉妹都市協会のレベッカさん、ブライアンさんの7名が参加し、我々協会からは八木会長をはじめ7名が生田神社に集まりました。



まず、生田神社の安部さんがスライドを上映しながら、生田神社の歴史について説明されました。次に公式参拝に参加して、玉串奉納体験や巫女舞を見学しました。自然を讃えて大切にしているコースト・セイリッシュの方々にとっても、日本人の自然に対する感謝や畏敬の念に対して特別の印象を持たれたのではないかと感じました。

社殿前での記念撮影の後、生田の森を見学しました。樹齢500年を超える木々や六甲山からの湧水に関心が集まっていました。「生田の森はかつて現在の面積の100倍ぐらいあったが、神戸港が開港し外国人居留地が拡大するにつれて住宅地が変わっていったこと、大きな樹に触れると自然のパワーを授かること」などの説明がありました。また、「神社の鳥居や建物がなぜ朱色なのか？狛犬の形が左右でなぜ違うのか？注連縄の形や意味」など多くの質問もできました。

最後に、生田神社会館で生田神社からの記念品や、我々協会からの記念品などの交換があり、ピーターソンさんから安部さんへ友好の印であるブランケットの贈呈が行われました。シアトルからの訪問団にとって日本古来の伝統文化を知ることができる機会となり、また人と人が直接話し合うことによる国際文化交流ができたと思います。



この4月11日にはU-Prepの学生さんとの交流でも生田神社にたいへんお世話になり、関係者の皆様にあわせてお礼申し上げます。

## 淡路島 企画展見学

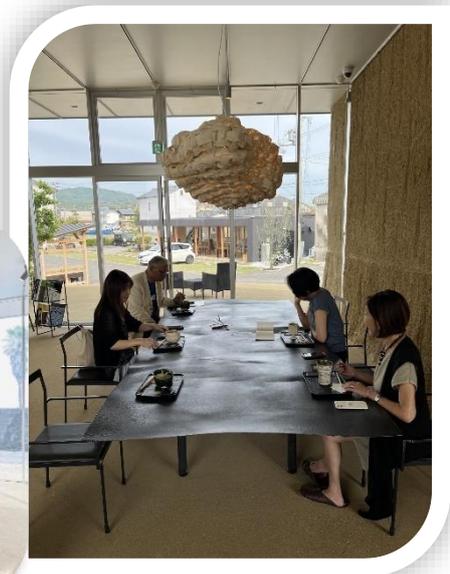
高見 芳明

4月28日にシアトル訪問団メンバー、ジャングルシティの大野さんとその友人の上林さんを案内して、八木会長、松村さんと淡路島の土のミュージアムSHIDOで開催されている照明デザイナー木下有理さんの企画展（Woven Light）を見学しました。木下さんは京都市生まれで2008年からシアトルに移住し、そこを拠点として活動されています。大野さんはシアトルで木下さんと親しくされており、今回は事前に知らせない突然の訪問で、木下さんは大変驚き我々を大歓迎してくれました。作品は和紙を素材にしてデザインされた照明器具が主体でした。新作MY Treeは大きく器具というよりはオブジェのようなものでした。また、展示品を販売されており訪問した企画展2日目で3作品が売約済みでした。



木下さんの作品はかさばるので運搬が難しく、今回もミュージアムがある敷地の近畿建材工業の工場の一画を整備シアトリエとして作業場にされていました。我々も案内していただき見学しましたが、よく整備されていると感心しました。ミュージアムは海岸近くで採光が良くて作品が映える立地の他にこの作業場の確保が大きな利点だと思いました。

当日はゴールデンウィーク2日目で途中の道路は渋滞し、昼食を摂ったレストランも待ち時間が長いなど少し苦労しましたが、大野さん、上林さんは喜んで満足されていたようなので、案内した甲斐がありました。



## 第23回 神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト

2024年5月11日（土）、新開地アートひろば2Fホールにて、ジャズヴォーカルクィーンコンテストが開催され、ご招待をいただき八木会長が参加しました。



ジャズシンガーたちが全国から応募し、予選を通過した8名のファイナリストから1名がクィーンとして選ばれ、シアトルのライブハウスでの出演という栄光の切符を手にすることができます。シアトルからは協会のメンバーでもあるジャズヴォーカリストのリア・ナターレさんがゲスト審査員の一人として参加し、素晴らしい歌声も聴かせてくれました。昨年に続き今年もジャズを愛する人々、応援団の人々が声援を送り、最後のセッションでは参加者とファイナリストの皆さん、会場全体が大いに盛り上がりジャズの楽しさを存分に感じるコンテストとなりました。

グランプリに選ばれた伊王野求美さん、おめでとうございます！ 私たちも、神戸とシアトルの交流のひとつとして、ジャズ文化を継承していく取り組みを今後も応援し共に盛り上げていきたいと思います。



## 神戸 YMCA訪問

高見 芳明

5月17日に新たに法人会員になられた神戸YMCAを挨拶と打合せをするために八木会長と訪問し、国際・奉仕センターの中道所長とYMCA本部の松田さんと面談しました。

神戸YMCAは神戸とシアトルの姉妹都市提携がされた3年後の1960年に神戸YMCA60周年記念式典にシアトルYMCAのボイデン副総主事が来神されたのをきっかけに交流を始められました。高校生のホームステイ交流事業を実施されていましたが、2017年を最後に募集を停止されました。このプロジェクトを再開した際にはホストファミリーを募集する手助けをして欲しい、また当協会がシアトル訪問団を派遣するときには参加したいと言われ快諾しました。シアトルYMCAの幹部であるJosh Suttonさんが7月にプライベートで来神されるので、八木会長には歓迎会に出席して欲しいと言われました。

当方からは今後も色々なアイデア、意見を交換したいと提案しました。5月末から八木会長がシアトルを訪問するので、その際にシアトルYMCAを訪問するアポイントを中道所長にお願いしました。

最後に1987年発行の「神戸とYMCA百年」2006年発行の「時を刻む今井鎮雄の仕事」の2冊の本をいただきました。



## シアトル訪問

八木 絵里

2024年5月末から6月初旬まで5年ぶりにシアトルへ行ってきました。

ある程度覚悟はしていましたが、どこに行っても物価が高すぎで、特にアメリカの中でもシアトルの物価が高くなっているという話を聞きました。



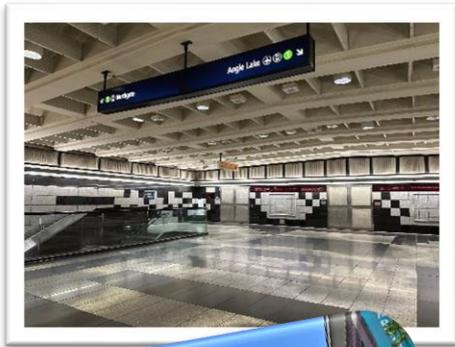
5年前とは街の景観や建物、交通なども大きく変わっていましたが、久しぶりに帰ったホストファミリー、友人、学校の仲間とは会えなかった年月の長さを忘れるくらいの変わず心地よい楽しい時間を過ごすことができました！

ホストファミリーには空港へ迎えに来てもらいましたが、空港もとても広く綺麗になりました。



パイクプレイスマーケットやWater Frontは工事が続いています、歩道橋や新しいピアもできるなど、便利に大きく変わっていました。大好きなIvar'sでFish&Chipsを手にかモメの飛ぶこの景色を目の前で見られていることに胸がいっぱいでした。協会のメンバーのJamieさんにも案内してもらいました。新しいお店も増えた分、なくなってしまったお店もたくさんあり、コロナ前と様子は大きく変わっていましたが、街にはたくさんの観光客で賑わっていました。ホームレスやドラッグの数は増え、深刻な問題にも直面しています。





シアトル・マリナーズの観戦に行きました。今はT-Mobile Park スタジアムとなっています。地下鉄ライトレールは路線も豊富で移動が大変スムーズでした。バス・電車・フェリーでも共用できる交通系ICカード（オルカカード）もチャージして使えるので滞在中は便利でした。



ジャングルシティ. コムの大野拓未さんとは神戸で会って以来でしたが、シアトルスターバックス本社やHello Robinなど、隙間時間にアテンドしていただきました！



Hello Robin という名前のRobinさんのお店はシアトルに2店舗あります。素敵で可愛いデザインのクッキーショップはお客様が絶えない人気のお店です。忙しいRobinさんも私の訪問を楽しみに待っていてくださりオススメのクッキーをいただきました！どれも美味しかったです。ホストファミリーを連れて再度お店にクッキーを買いに行きました。



神戸に滞在した楽しい思い出に花が咲き、いつか神戸でクッキーショップをオープンしたい！という夢が実現できると嬉しいです。



私のシアトル滞在中にはこれまでにシアトルでお世話になった方々がお食事会を開いて集まってくれました。KING5の元アンカーで最近絵本を出版したLori Matsukawaさんとご主人、学生のホストファミリーMark Funkさんと小説家である奥様のPam Ke Gaffinさん、毎回訪問の際に皆さんのお元気な様子を見れることは嬉しいです。



SKSCAのメンバーとは、シアトルのジャズの老舗「Jazz Alley」にて神戸生まれ、ニューヨーク在住のトランペット奏者、黒田卓也さんのコンサートに合わせて集まりました。Karin Zauggさんにご主人のDanさん、Rebecca Skoogさん、Mira Pomerantzさん、Leah Nataleさん、Nintendoで働く日本語堪能なDylan Rhoadsさん、兵庫県ワシントン事務所の池上さん夫妻、ご家族の皆さんなど懐かしいメンバーに久しぶりに一度に会うことができ、美味しいお食事と素晴らしい演奏は本当に温かい気持ちが溢れる最高の時間となりました。私のHost FatherであるJackも参加し、黒田さんのトランペットのファンになりました！



最近では神戸でお会いする機会の多かったメンバーのElaine Ikoma Koさん。  
お忙しい中、お仕事の帰りに旦那さまと一緒に迎えに来てくださり、素敵なレストランでお食事をしました。シアトルと神戸の話で盛り上がりました。

最近ではサラダメインのヘルシー志向の方々が増えている印象でした。残ったおかずは持ち帰り、のスタイルです。



私にとってアメリカの家族との時間は特別です。学生時代からのアメリカの家族であるJackとBeth、そして息子Rei-gerとの再会。娘のLilyは結婚してオーストラリアに住んでいます。今回の滞在では到着した日の夜から家族はそれぞれの仕事で不在になるという状況で少しの不安はありましたが、送迎や買い物、料理、庭の手入れ、家族でのウォーキングなど、何気ない時間を共有しお互いの近況を語り合い、病気や怪我也も経験して健康の話。家族のサポートに心から感謝し、皆の健康と平和を願わずにはいられません。



日々忙しい友人たちとの時間はいつも限られています  
が、今回も特別な時間を作ってくれた友人たちに感謝です。



今回は仕事の関係でシアトルのプリスクールもいくつか訪問しました。再会できた先生たちとはやはり子どもたちの教育や環境問題などを深く語り合いました。コロナの間の現場の大変さは日本もアメリカも同じ、先生たちの熱い教育への情熱も変わりません。自然に溢れた環境や、教育活動や様々な取り組み、その中で自分で考え行動する子どもたちの姿を見ることができ色々な学びもありました。



ビル&メリンダ・ゲイツ財団 DISCOVERY CENTERを訪問しました。

世界最大の慈善基金団体であり、世界における病気・貧困の課題や、特にアメリカにおいては教育やITに接する機会を提供する活動を行なっています。先進国に住む人たちが生活する上で欠かせないトイレも、世界では20億人以上がトイレのない生活を余儀なくされています。ゲイツ財団は「最大限の成果を生み出すことができるプロダクト」の開発を目指し、革新的、そして途上国で活躍できるトイレの開発に融資して取り組んでいます。その現状をパネルなどで知ることができ、実際に体験することができる場所で、毎日のように学校から生徒たちが学びに訪れてディスカッションをしています。

シアトルへ行く際には子どもたちと訪れる場所の1つです。是非行ってみてください！



## ～絆を紡いで～

八木 絵里

この度のシアトル訪問でとても嬉しい再会を果たしました。

21世紀に向けて住み続けたい街、訪れたい街となる「アーバンリゾート都市」の実現を目指して、1993年5月に神戸市内全体で「アーバンリゾートフェア神戸'93」が盛大に開幕されました。6ヶ月間の間、神戸全域が350以上もの多彩なイベントで埋め尽くされ神戸は活気に溢れました。

その中で4月28日から5月5日まで「神戸・世界子どもフォーラム」があり、世界20カ国の子どもたちを招き、神戸市内でホームステイを行いながら神戸での生活を体験し、最後の日には5万人が集い「ドレミのうた」をステージで大合唱をしました。

この時に私の家庭はホストファミリーとして、初めてシアトルからの10歳の男子を迎えました。名前はAndre Zante君。言葉はもちろんのこと、文化や習慣の違いに戸惑いはありながらも、家族の一員として私の弟のように生活の中で互いの理解や関係を深めていきました。小学生の時に親元から離れて異国の地で生活するという体験は、相当勇気のいることだったと思います。その頃には今のような携帯電話もありません。すぐに家族に連絡などもできません。受け入れる側も食事や体調などを気遣いながらではありましたが、食べ物の好き嫌いを普通に伝えてくれるようになる頃には自然と遠慮もなくなり、安心したのを覚えています。その彼は今では5人のお父さんになり、シアトルで素晴らしい活躍をしています。

それから2年後1995年1月17日、神戸は阪神・淡路大震災に見舞われま

した。この困難な時期に、シアトルの方々が温かい支援の手を差し伸べてくださいました。私の友人が被災した子どもたち45人をシアトルに招待する

「神戸シアトルキッズキャンププログラム」を提案してくれたのです。今度はアンドレ君の家族までもが被災児童を受け入れてくださいました。「自分たちにできることはある？」と国際電話で心配してくれるシアトルの皆さん



の思いは、私たちに大きな勇気と希望を与えてくれました。この出来事は、困難な時こそ互いに支え合うことの重要性を強く印象付けました。

この度のAndre君との再会は、私が結婚をして息子連れで行った時以来です。Andre君も結婚をして5人の子どもの父親になっていました。この日は彼の両親やお兄さんも集まって迎えてくれました。ご両親がアーバンリゾートフェアのアルバムを保管してくださっていて、自分の神戸での経験を話すAndre君と、昔の父の経験を興味深く嬉しそうに聞く子どもたちの姿に胸が熱くなりました。Andre君自身が10代で神戸に来て体験したこと、感じたこと、歌も言葉も今でもよく覚えていてくれていて驚きました。写真を見ながら家族で「ドレミの歌」の大合唱でした。子どもたちはお父さんが大好きで本当に嬉しそうな様子でした。

親から子へ、そしてまた次の世代へ、と語られていくことの尊さを感じました。Andre君はアーバンリゾートフェアに参加し神戸に行きたいために、学校から帰って一生懸命作文を書き、何百人もの応募者から選ばれた時の嬉しかった気持ち、嫌いだった魚を日本で食べられるようになったこと、など初めて聞く父の話だったようです。

「いつか神戸に行こう！」と家族の話は盛り上がり、5人の子どもたちは目を輝かせていました。Andre君自身が10代で神戸に来て体験したこと、感じたこと、歌も言葉も今でもよく覚えていてくれていて私も驚きました。



人と人のつながりは、時に私たちの想像をはるかに超える力を持っています。言葉や文化の壁を越えて、心と心が通じ合う瞬間、それこそが、真の国際交流の姿です。Andre君との再会は、そんな尊い真理を、あらためて私に教えてくれました。



## 神戸シアトルビジネスオフィス 兵庫県ワシントン事務所 訪問

2024年5月末、シアトル訪問の際に、神戸シアトルビジネスオフィス、兵庫県ワシントン事務所を八木代表が訪問しました。シアトルのダウンタウンの中心地の図書館の前の大きなビルの43階にオフィスがあります。企業の多くがコロナのパンデミックの間は働き方も在宅でのリモートワークに変わり、今尚ビルの中の状況は空きオフィスがかなり見受けられました。ガラんとしたフロアが続いていました。

最近少しずつ従来のオフィスワークに戻る傾向にあり、週1回か2回だけダウンタウンのオフィスに来て、それ以外は在宅で働く形が多いようです。

訪問の際には、神戸シアトルビジネスオフィスへ着任されたばかりの丸喜健史所長、兵庫県ワシントン事務所の池上卓久所長とアシスタントディレクターのジャニス・リーさんが迎えてくださり、これまでの両市の発展、今後の見通しなどについても良いお話ができました。姉妹都市、姉妹州が今後ますます協力しあいながら共に発展していくことを楽しみにしています。



## シアトル YMCA 訪問

2024年5月、八木代表がシアトルのYMCAを訪問しました。

Facilities ExecutiveのJosh Suttonさんが親切に館内の案内や活動の説明などをしてくださいました。Joshさん夫妻も学生のホームステイを長年されており、姉妹都市シアトルと神戸の交流活動にも長年サポートをしてくださっています。

YMCAは世界中でその地域の方々に多く利用されている場所です。コミュニティの全ての人々の健康を願い、フィットネスの施設環境を提供しています。子どもから高齢の方までの方がプール、トレーニング、バスケットボールなどを楽しめるように設備はとても綺麗でプログラムも充実していました。スポーツプログラムでは子どもたちの心身ともに健全な育成を目指した様々なアクティビティが用意されていました。キッズゾーンの取り組みは、YMCAが目指す青少年の育成にも大きく貢献しています。神戸市のこれまでのプログラムにおいても様々な機会にサポートをしていただけてきました。

今後はより一層、神戸YMCAの皆さんと共に連携をしあいながら国際交流活動を促進させてまいります。具体的な活動プログラムなども楽しみにしててください！



## Josh Sutton夫妻歓迎会 in KOBE

2024年7月、Josh Suttonさん、Susan Suttonが神戸に来られてYMCAのFriendship Dinnerにご招待いただきました。ニューミュンヘン神戸大使館にて開催された歓迎会には、YMCAのエクステンジブプログラムの方々や、職員など懐かしいメンバーが多く参加されていました！Joshさんとは数ヶ月前にシアトルでお会いしたばかりで、またこうしてすぐに神戸で再会できたことが大変嬉しかったです。神戸YMCAの職員でもあり姉妹都市協会の会員として長年一緒に活動してくださっている松田さん、岩井さん、そして今回このような機会を作ってくださった国際・奉仕センターの中道さんには改めて感謝いたします！今後は法人会員としてもよろしくお願ひします。



## ブライアンさん来神

高見 芳明

6月16日にシアトルからブライアン・チュさんが来神、八木会長、松村さんと共にハーバーランドで会食をし、情報交換などをしました。ブライアンさんはシアトル神戸姉妹都市協会のボードメンバーで4月のシアトル市長訪問団ではカメラマンとして大活躍されました。その際に近々日本をプライベートで訪問するつもりだとお聞きし、来神される場合は連絡いただくようお願いをしていました。

今回の来神には日本人の奥さまと娘さん（小学校3年位）もご一緒でした。ブライアンさんは日本で勉強されたので日本語は達者で、我々の前ではご家族にも日本語で話されていました。娘さんは可愛い盛りで日本については興味津々の様子でした。

シアトルと神戸の各々の姉妹都市協会の活動について、苦労している点などお互いに本音で話して貴重な情報交換ができ、最後は、今後も姉妹都市協会の活動を協力して盛り上げましょう！と合意しました。

ブライアンさん一家はこの後、奥さんの実家がある三重県津市に滞在した後に東京に行き、帰国されました。



## ●神戸ビジネスシアトルオフィスより

皆さま、はじめまして。4月より神戸ビジネスシアトルオフィスに赴任いたしました丸喜健史（まるき たけし）と申します。よろしくお願いいたします。

これまで経済観光局や企画調整局医療産業都市部にて経済分野に関係する業務に長く携わってまいりました。また、神戸市に入庁する前は民間企業に8年間勤めておりました。これらの経験を活かし神戸シアトルビジネスオフィスのミッションである、神戸とシアトル双方の経済活性化に寄与したいと考えております。

今、神戸や日本を取り巻く環境は刻一刻と変化しております。円安、物価高騰、人口減少、高齢化、気候変動など様々な課題に向き合っていかなければなりません。これらの課題は神戸や日本だけに閉じたものではなく、世界で起こる様々な動きと連動しています。神戸は歴史的にも海外に開かれた街で多くの外国人を受け入れ、様々な文化も神戸から日本に入ってきた国際都市です。神戸シアトルビジネスオフィスは、アメリカにおける神戸市の窓口として、様々な課題の解決に向けて世界で起こっている事をいち早くキャッチし神戸市政に還元するとともに日本の優れた部分を世界に発信する役割も担ってまいります。今後とも皆さまのご指導ご鞭撻を頂けますよう、よろしくお願いいたします。

4月に赴任してから約5ヶ月が経過しました。日本との違いを感じる事が多く、そこからの学びも多いです。シアトルは2010年から2022年にかけて人口が23%も増加しました。これは全米でも1番の増加率です。この要因を紐解くと神戸の未来にとって有益なヒントが得られるかもしれません。また、女性の社会進出は非常に進んでいることも感じます。病院や教育機関などでも多くの女性が活躍しています。また、国籍も多様で特にアジア系の方が多い印象です。現地の方にお話しを伺うとマイクロソフトやアマゾンなどのメガテック企業にインドから大量の優秀な人材が集まってきているそうです。大企業が世界中から優秀な人材を集めてさらに成長を続ける。また、その優秀な人材が起業や転職したりすることで地域経済が活性化される好循環を生み出されています。一方でIT産業に従事する方々は給与水準が高く、シアトル地域の物価や家賃などの高騰を引き上げる一つの要因と言われております。

地域の経済活性化に伴う副作用として新たな課題が生じていることを目の当たりにして行政マンとして考えさせられます。シアトルがこのような課題にどのように対応していくのか注目していきたいと思っております。

文化の面に目を向けると日本に対する現地の方々の関心の高さを感じられます。シアトル地域では日本の文化を紹介するイベントがいくつか開催されるのですが、毎回多くの方々が訪れ大変賑わっています。これも今年の4月にシアトルから神戸にストーリーポールが贈られたことに象徴されるように長らく神戸とシアトルの友好関係にご尽力された皆さまや現地で大変な苦勞を経験されながらも頑張ってくられた日本の方々の貢献による所が多いと考えております。先人の皆さまが築かれてきた神戸とシアトルの良好な関係を更に発展させられるよう努めてまいりますので、改めて今後ともよろしくお願いいたします。



## ●ジェイミーのシアトルからの近況報告

皆さん、こんにちは！久しぶりですね。元気だといいですね。シアトルの近況報告です。  
今年の夏は色々な出来事があり忙しい夏でした。



5月の中旬シアトルでオーロラを見られましたよ。超綺麗でしたよ。初めてでした！

一週間ぐらい後、八木会長がシアトルに来られました。久しぶりにパイクプレイスマーケットとウォーターフロントの「Ivar's」と言う海の幸のレストランに行きました。滞在中には「Le Pichet」と言うおすすめのフランス料理のビストロで夕食を食べました。そのレストランはパイクプレイスマーケットから近いです。僕の大好きなシアトルのレストランで、食べ物は美味しく、値段も高くなくて、居心地がとても良いです。皆さんもシアトルに来たら、ぜひ行ってみてください。

そして、また別の機会に自宅に夕食を招待しました。八木会長のシアトル訪問はとても楽しかったです。

やはり6月の下旬には夏の天気になりました。でも、シアトルで今年の夏はあまり暑くありませんでした。

7月には怪我をしました。近所のマーサーストリート「Mercer Street」を渡っていた時に知らない人が暴行してきました。突然僕の口をパンチして、僕は道に倒れました。彼は車で逃げました。下の歯は怪我して、下唇と口の裂傷がありました。とても怖かったです。でも良い事もありました。その時人がたくさん助けてくれましたよ。僕と一緒に交差点から歩道まで歩いて警察と救急車に電話を掛けてくれました。皆さん、私達の周りに優しい人が多いと思いますよ。本当に！その後病院に行きました。警察は調査しています。五週間柔らかい食べ物しか食べませんでした。今下の歯は良くなりました。まだちょっと痛いですが大丈夫ですよ。日本の友人にも心配をおかけしました！



ご存知通りに7月もアメリカは大変な時でした。ペンシルバニアで人がトランプに暗殺してみました。バイデン大統領は選挙のキャンペーンを辞めました。ハリス副大統領がキャンペーンを始めました。

アメリカの状態について心配しています。2016年から2020までトランプの時代は酷いだった。後で、バイデンが2020年11月の選挙を勝ちましたが、トランプ大統領はその結果を受け入れませんでした。2021年1月6日にワシントンでトランプの味方の暴動でした。怖い日でした。その日から2024年の選挙を心配しています。選挙の後何を起こりますか。選挙の後アメリカはまだ民主主義国家が分かりません。心配していますが、まだ希望もあります。

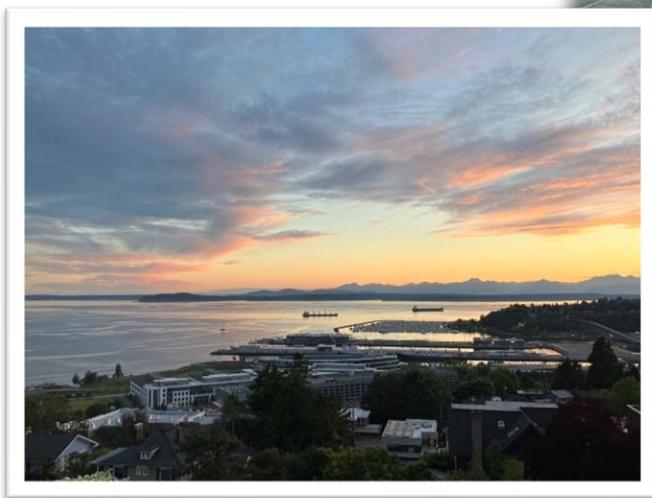
はい、重い事も起こっていますが、良い事も起こっていますよ。僕の最後のニュースは、8月の下旬シアトルシンフォニーコラールと言う合唱団「Seattle Symphony Chorale」のオーディションを受けたことです。結果は合格しましたよ！9月から Seattle Symphony Choraleの歌手になります。11月下旬には最初のコンサートがあります。フォールのレクイエムを演奏します。12月はヘンデルのメシアです。楽しみにしています。

Enjoy the cooler fall weather and I hope to see you in Kobe or Seattle soon!

Take care,

Jamie

アースバック・ジェイミー



## ● 今後の予定

- ・2025年2月1日(土)に当協会20周年記念イベントを開催する予定。
- ・また、3月には20周年を記念してシアトルを訪問する計画も検討中です。

\*日程・詳細は決まり次第、協会ホームページ・Facebook・メール等でご案内いたします。  
会員の皆様、ご家族・お友達をお誘いのうえ、是非ご参加下さいませ。

## ● ホストファミリー／ホームビジットファミリー登録のお願い

神戸・シアトル姉妹都市協会会員の方で、海外からのゲスト(ホームステイ)や神戸近辺在住の外国人の方(ホームビジット)を受け入れてくださるファミリーの登録を受け付けています。

ホスト／ホームビジットファミリーとして、ゲストの受け入れに興味・関心がある方、また、内容や時期などによっては受け入れが可能な方は是非登録してください。登録していただいた方の中から、個々の条件に合いそうなゲストが来られたときに、直接ご連絡させていただきます。登録を希望される方は、**神戸・シアトル姉妹都市協会ホームページ <http://kobeseattle.com> の「お問い合わせ」Contact us** へ「ホストファミリー登録希望」もしくは「ホームビジットファミリー登録希望」とご連絡ください。

登録に必要な協会員の ①氏名・年齢 ②住所 ③家族構成(性別・年齢) ④最寄り駅 ⑤その他希望事項(受け入れ条件などの希望) などをお尋ねする為、当方から折り返し連絡を差し上げます。会員の皆様のご登録お待ちしております。

## ● 2024年度会費(2024.4.1～2025.3.31)振込のお願い

協会の活動は、設立趣旨に賛同された会員の方々のご協力ご支援によって運営しています。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

以下の通り、活動に賛同していただける会員の方々のご協力をお願いいたします。

- ◆ 個人会員 3,000円/1口～
- ◆ 学生会員(高校・大学・専門学校等に在籍するもの) 1,000円/1口～
- ◆ 法人会員 20,000円/1口～

【銀行振込】 三井住友銀行 神戸学園都市支店 普通 番号:3630038  
コウベシアトルシマイトシキョウカイ

【ゆうちょ振込】 [00970-6-154424] 神戸・シアトル姉妹都市協会

※振込手数料は個人負担でお願い致します。

但し、協会専用の「振込票」をご利用の場合は、振込手数料は会で負担致します。

2023年度 会計決算

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位:円)

| 収入の部    |         |                                       | 支出の部             |         |             |
|---------|---------|---------------------------------------|------------------|---------|-------------|
| 項目      | 金額      | 摘要                                    | 項目               | 金額      | 摘要          |
| 前年度より繰越 | 510,187 |                                       |                  |         |             |
| 会費 (個人) | 195,000 |                                       | ニューズレター<br>印刷、発送 | 57,187  | 11月発行(300部) |
| 会費 (法人) | 140,000 | 啓明学院、雲雀丘学<br>園、ヴィッセル神戸<br>コストコ、神戸YMCA | ホームページ           | 15,984  |             |
| 助成金     | 12,000  | 神戸市社会福祉協議会                            | 交流事業             | 345,356 | シアル訪問団歓迎交流会 |
|         | 40,000  | KICC地域国際化推進                           |                  | 97,750  | 協会新年会       |
| 交流事業    | 291,700 | シアル訪問団歓迎交流会                           | 通信費              | 1,490   |             |
| 会費      | 97,800  | 協会新年会の会費                              | 事務消耗費            | 3,050   | 封筒他         |
|         |         |                                       | 振込手数料            | 5,553   | ゆうちょ振込手数料   |
|         |         |                                       | 交通費              | 7,400   | 駐車料金他       |
|         |         |                                       | 雑費               | 6,908   |             |
| 今年度収入合計 | 776,500 |                                       | 今年度支出合計          | 540,678 |             |
| 差し引き残高  | 235,822 |                                       |                  |         |             |
| 次年度繰越   | 746,009 | ゆうちょ銀行 ¥525,656円、<br>三井住友銀行 ¥220,353円 |                  |         |             |

上記の通りKSSCAの会計決算を報告いたします。

2024年3月31日

会計 (正)高見芳明(副)松田高明

会計監査報告、会計検査を実施、帳簿等を調査した結果、上記の通り相異なることを認めます。

2024年3月31日

会計監査 芳賀雄彦



# 神戸・シアトル姉妹都市協会

## Kobe-Seattle Sister City Association

代表者 八木 絵里  
申込み・問合せ ホームページからお願いします。  
ホームページ <http://kobeseattle.com>

### 【活動内容】

当協会は草の根交流のサポート・推進を行うための団体として、以下のような活動を中心に行っていきます。

- ① 交流会の実施
  - ・姉妹都市協会会員や日本在住の外国人の方、シアトルから来神している方を対象とした交流会やイベント等の開催
- ② 国際交流事業の実施・サポート
  - ・協会独自のイベントの企画・実施
  - ・神戸市などの事業への協力や各種交流プログラムのサポート
  - ・シアトル-神戸姉妹都市協会（シアトル側協会）との連携・交流

※この他にも今後様々な活動を行っていく予定です。
- ③ 会報誌の発行

### 【年会費】

- ◆ 個人会員 3,000円/1口～
- ◆ 学生会員（高校・大学・専門学校等に在籍するもの） 1,000円/1口～
- ◆ 法人会員 20,000円/1口～

当協会の活動は、設立趣旨に賛同された会員の方々のご協力・ご支援により運営していきます。

上記の他にも、当協会の活動内容にご賛同いただける方のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

当協会会員にお申し込みいただける方は、

当協会ホームページ <http://kobeseattle.com> からお願いします。

後日、会員費の振込先をご連絡させていただきます。

# Kobe-Seattle Sister City Association

---

Kobe-Seattle Sister City Association (KSSCA) is a volunteer-based association that helps promote and facilitate friendly relations between Kobe and our sister city, Seattle.

KSSCA aims to increase the mutual understanding and friendship between the people of both cities, bridge the gap in language and customs, and cultivate exchanges at the grassroots level.

KSSCA's primary activities are as follows:

1. Exchange events in Kobe for association members and guests from Seattle
2. Support for international exchange programs
3. News Letter publication

KSSCA will continue to foster programs and exchanges.

KSSCA is looking for people who have an interest in or connection with Seattle.

Please see our homepage : <http://kobeseattle.com> to join KSSCA.

If you are interested in participating in the KSSCA, please join us !

Annual membership fee

|                                  |          |
|----------------------------------|----------|
| Individual :                     | ¥ 3,000  |
| High school or college student : | ¥ 1,000  |
| Corporate :                      | ¥ 20,000 |



**コストコホールセールは、高品質な商品とサービスを出せる限りの  
低価格で提供する会員制倉庫型店です。**

<https://www.costco.co.jp/>

日本であまりみない倉庫のような売場には毎週のように新商品が続々と入荷し、いつ来ても楽しい発見があります。

また、調剤薬局、補聴器／オプティカルコーナーやタイヤセンターには専門スタッフが常駐し、サービスの提供をしています。

フードコートでは、アメリカンサイズの飲み放題付きホットドッグやピザをはじめ、季節で変わるソフトクリームやスムージーをご用意しています。



**【年会費】**

**エグゼクティブメンバー**



(税込) **¥9,900**

年間購入金額の最大2%エグゼクティブリワードを獲得可能です。エグゼクティブメンバー限定のサービスやクーポンが受け取れます。

メンバーシップの登録はコチラ▶



**ゴールドスターメンバー**



一般の方用

(税込) **¥4,840**

**ビジネスメンバー**



自営業／法人の方用

(税込) **¥4,235**

**全てのメンバーシップに心強い**

**2大保証 付き！**



**商品保証**

会員の皆様に万が一ご満足いただけない場合、商品と引き換えに代金を全額返金(一部商品を除く)



**年会費保証**

会員の皆様がコストコのシステムやサービスにご満足いただけない場合、有効期限内の解約であれば年会費を全額返金

\*画像はイメージです

コストコホールセール神戸倉庫店 〒655-0001 兵庫県神戸市垂水区多聞町字小東山868-26 TEL: 0570-200-800

# ヴィッセル神戸を応援しよう！

※試合開催の日時・会場等、最新の情報はクラブのオフィシャルサイトをご確認ください。



**ヴィッセル神戸 オフィシャルサイト**

<https://www.vissel-kobe.co.jp/>





**啓明学院中学校・高等学校** 〒654-0131 神戸市須磨区横尾9丁目5番1  
TEL 078-741-1501 FAX 078-741-1512

<https://www.keimei.ed.jp>

雲雀丘学園は「親孝行」と  
「やってみなはれ精神」を大切にして  
子どもたちを育てています



新文化館「道しるべ」



中山台幼稚園



学校 雲雀丘学園  
法人

<https://www.hibari-ho.ed.jp/>

〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4-2-1  
TEL:072-759-3000 FAX:072-759-5722





# KAWATA TRADING LTD.

## 河田トレーディング株式会社

水産加工品、酒類、一般食品、日用品、自動車などの輸出入国内卸売を手掛ける明石の河田トレーディング株式会社



### 取扱商品 Products

- ・水産加工品・農産加工品・一般食品
- ・酒類・飲料・米・日用品・食品機械

### 河田トレーディング株式会社

〒673-0892 兵庫県明石市本町1丁目1-24

大日明石本町ビル602号

TEL: 078-920-8036 FAX: 078-920-8389

Home Page: [kawata-trading.com](http://kawata-trading.com)



### 〈私たちの使命〉

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を作ります。

### 〈私たちの願い〉

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。

### 〈使命実現のための柱〉

- ・未来を創る子どもたちの育ちを支えます。
- ・若者のつながりと関りを広げるプラットフォームの場をともに創ります。
- ・ポジティブネットのある豊かな社会を目指します。
- ・未来の社会への責任を担います。

## 公益財団法人 神戸 YMCA

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11

TEL 078-241-7201 Email [info@kobeymca.org](mailto:info@kobeymca.org)



## 2024年度 ボードメンバー紹介

八木絵里 横山智子 松村薫  
高見芳明 中川周平 原田由貴  
松田高明 松本セイラ 鶴川有

会計監査 芳賀雄彦  
編集協力 松田高明  
編集 原田由貴

ホームページ <http://kobeseattle.com>

 神戸・シアトル姉妹都市協会

Instagram kobe.seattle